Java



盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

★☆★本日の内容★☆★

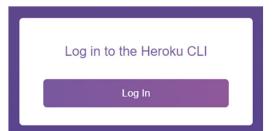
- 1. デプロイの準備(環境構築)
- 2. デプロイ作業
- 3. Herokuのリソースについて



◆デプロイの準備

- ① インストーラーから Heroku CLI をインストールする。
- ② インストーラーから Node.js をインストールする。
- ③ コマンドプロンプトから Heroku CLI にログインする。

```
$ heroku login # 何かしらのキーを押してブラウザから Log In をクリック heroku: Press any key to open up the browser to login or q to exit:
```



④ Heroku CLI をアップデート

\$ heroku update

Heroku CLI をアップデート

⑤ Java用プラグインをインストール



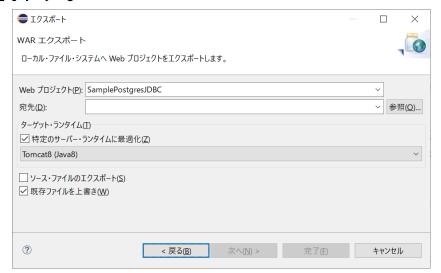
\$ heroku plugins:install java # Java用プラグインをインストール

\$ heroku plugins # インストール

◆デプロイの作業

- ① 動的WebプロジェクトをMavenプロジェクト化する。 プロジェクトを右クリック→「構成」→「Mavenプロジェクトへ変換」
- ② pom.xml/こPostgreSQL用のドライバの記述を追記
- ③ warファイルを生成する。

プロジェクトを右クリック → 「エクスポート」 → 「Webフォルダの中のWARファイル」 「参照」から出力先を指定して完了ボタンを押す。

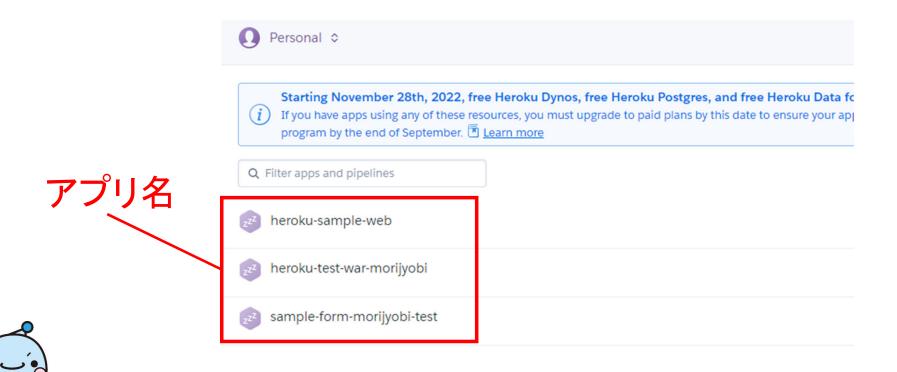




◆デプロイの作業

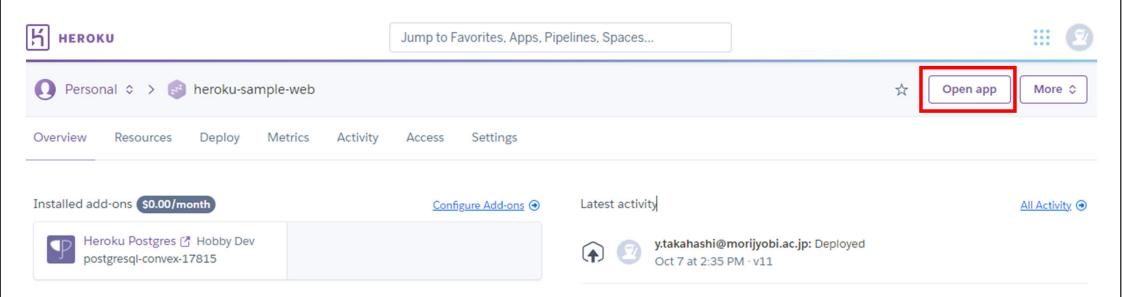
④ warファイルを Heroku にアップロードする。

```
$ heroku war:deploy <warファイル名> --app <Herokuのアプリ名> # テンプレ $ heroku war:deploy sample.war --app sample-web-app-xxx # サンプル
```



◆デプロイの作業

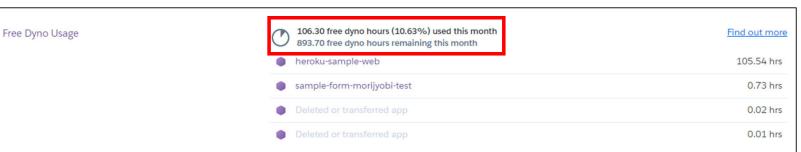
⑤ Heroku上から「Open app」を押して動作確認をする。 ※デフォルトページにアクセスされます。

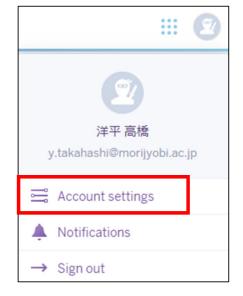




◆Herokuのリソースの残り枠の確認

- ① Heroku上の右上のアイコンから「Account settings」を選択する。
- ②「Billing」タブから残りの稼働時間が確認できます。





クレジット登録なしだと 500h/months 、クレジット登録すると 1000h/months 使えます。 無料枠の Heroku アプリは30分間アクセスが無いとインスタンスが自動で落ちます。 再度アクセスがあると10秒程度でインスタンスが立ち上がります。

Dyno sleeping

If an app has a free web dyno, and that dyno receives no web traffic in a 30-minute period, it will sleep. In addition to the web dyno sleeping, the worker dyno (if present) will *also* sleep.

Free web dynos do not consume free dyno hours while sleeping.

If a sleeping web dyno receives web traffic, it will become active again after a short delay (assuming your account has free dyno hours available).

